

2017 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日に愛知県内において  
心停止状態で救急要請し医療機関へ搬送された方またはご家族の方へ

「初期心電図波形の違いによる院外心停止患者の

良好な神経学転帰に影響を及ぼす要因

—2017-2023 の愛知県のウツタインデータより—

へのご協力をお願い

## 1 研究の概要

病院外で心停止に陥ってしまった方を救命し社会復帰へ導くためには、医療機関に搬送されるまでに行われる救命処置が重要となります。2020 年から猛威を振るった COVID-19 の感染拡大は救急医療に大きな影響を与えました。COVID-19 が流行していた期間では、病院外で心停止に陥った方の社会復帰率が低下したとの報告もあります。社会復帰率が低下した要因には、医療がひっ迫しており医療機関への搬送に時間がかかってしまったこと、接触を避けるために救命処置が遅れてしまったことなど、様々なことが考えられます。これらのことを客観的な情報を用いて分析することは、今後の救急医療を検証するうえで貴重な資料になると考えます。

心停止で救急搬送された方に関する情報は、全国の消防本部で同じ様式で収集されており、これを「ウツタインデータ」と言います。ウツタインデータには、心停止の方へ医療機関に到着するまでにどのように救命処置が行われたのか、心停止時に目撃者はいたのか、搬送された方の経過などの情報が収集されています。この情報を使用することで、病院外で心停止に陥った方のその後の経過に影響を及ぼす要因を明らかにすることが可能であると考えています。

この研究の目的は、愛知県のウツタインデータを分析し病院外で心停止に陥った方の経過に影響する要因を明らかにすることです。

### 【研究の対象となる方】

2017 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に愛知県内において、心停止状態で救急要請し医療機関へ搬送された方（15 歳未満の方や、心停止の原因が外傷など外因性による場合は除きます。）

### 【研究期間】

この研究の実施を許可された日から 2027 年 3 月 31 日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆さまへ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

## 2 研究の方法

この研究では、愛知県の消防保安課が毎年集計しているウツタインデータを利用します。この既存情報は、パスワードのかかった電子ファイルにより管理します。名古屋市立大学においてデータをとりまとめ、統計学的に解析を行います。提供された情報は、名古屋市立大学が責任を持って管理します。

## 3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、心停止状態に陥り救急搬送された際の以下の情報を利用します。

【救急搬送された方に関する情報】

- 救急要請が行われた年（西暦）
- 年齢、性別
- 心臓の電気活動を表示する医療機器に最初に示された心臓の波形
- 心停止に至った場所

【心停止に至った現場に居合わせた人に関する情報】

- 心停止に至った際に目撃者がいたかどうか
- 心臓マッサージが行われたかどうか
- 人工呼吸が行われたかどうか
- AED が実施されたかどうか
- AED が実施された場合、その実施回数

【救急隊の活動に関する情報】

- 救急現場到着までの時間
- 電気ショックの治療が行われたかどうか
- 電気ショックが行われた場合、その実施回数
- 気道確保（空気が通る気道が閉塞しないような処置）が行われたかどうか
- 特殊な器具を使用した気道確保が行われたかどうか
- 上記が行われた場合、処置までに要した時間
- アドレナリン（救命処置に使用される薬剤）が使用されたかどうか
- 上記が行われた場合、使用までに要した時間
- 医療機関に到着するまでに要した時間

【救急搬送された方のその後の経過】

- ・ 停止した心臓の動きが再開したかどうか
- ・ 救急要請から 1 か月後に生存していたかどうか
- ・ 脳機能カテゴリー（脳に関する機能を評価する方法）による評価

#### 4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：医学研究科先進急性期医療学 服部友紀

既存情報の提供のみを行う者：愛知県消防保安課 救急・救助グループ 佐藤文彦

#### 5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた機関で厳重に管理し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

#### 6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は名古屋市立大学より支給された研究費により実施するものであり、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

#### 7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学病院救急科

電話番号： (052) 858-7391

(対応可能な時間帯) 9時から17時まで

対応者： 服部友紀、伊藤真規